

	課題分析	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の漢字を正しく活用する力を身に付けさせる必要がある。</li> <li>・自分の考えをもったり、分かりやすく筋道を立てて相手に説明したりする力を身に付けさせる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートやドリルを活用したり、定期的に漢字テストを行ったりして、習熟を図る。</li> <li>・他者を意識した「話す・聞く」場面を設ける。身近な話題を取り上げ、事柄の順序に沿って話をさせ、適切に言語を使って表現する力を養う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を読み取ったり、比較したりして、まとめる学習活動が十分でなかった。</li> <li>・社会事象と自分たちの生活を結び付けて考える学習を取り入れる必要がある。</li> <li>・社会に見られる課題を把握し、解決に向けて学んだことを活用する学習活動が十分でなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料について、目的や観点を明確化して、読み取る学習を充実させ、表や文章でまとめる活動を増やす。</li> <li>・自分たちの生活とのつながりについて、気付いたことを学習の振り返りで書かせたり、発表させたりする。</li> <li>・单元ごとに学習内容を振り返り、自分の学びを次の学習に活用する活動を増やす。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の概念や計算の仕方を身に付けられるように、基礎基本の定着を図る学習活動を取り入れる必要がある。</li> <li>・既習の知識を活かして、自分の考えを明確にするための学習活動を工夫する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートやドリルなどによる繰り返しの学習を活用し、計算領域における習熟を図るとともに、東京ベーシック・ドリルを活用し、各学年の学習の定着を図る。</li> <li>・具体物や教材を活用し、学習内容の理解を深め、実体験を基に既習の学習を生かせるようにする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察から事実を捉え、筋道を立てて表現することに課題がある。</li> <li>・学習したことを、他の単元や教科の学習や生活に生かそうとする意欲を高める取組を工夫する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考察の例文を提示し、それを手本にして、考察の書き方を身に付けさせる。</li> <li>・今までに学習したことを生かして、日常生活の事象を考察し、説明する学習場面を設ける。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物に触れたり親しんだりする機会が少ない。</li> <li>・動植物の観察を通し、気付いたことなどを伝える力が付いていない。</li> <li>・他学年や、地域の人々・施設との関わりを通し、学習を進めていく機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物に触れる経験を多くもたせるように工夫する。（校内環境の整備）</li> <li>・言葉や絵を使った表現の仕方を教え、発表し合う場面をつくる。</li> <li>・学習の中での交流活動や、地域との連携を積極的に行っていく。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌声や楽器の音色の美しさ、魅力等に気付くことができる課題提示の工夫をしていく必要がある。</li> <li>・音楽の要素と結び付けて演奏したり聴いたりする学習活動を意図的に設定する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の工夫の仕方を、具体的な例を示して取り組めるようにする。</li> <li>・演奏したり鑑賞したりする時に、音色や音楽の要素に触れ、表現に生かす活動を設ける。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作りたいイメージに合わせて、材料や用具を選択する力を身に付けさせる必要がある。</li> <li>・自由な発想を膨らませるための環境づくりを工夫する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や道具の特性やよさを知り、基本的な使い方を習得させ、自分のイメージに照らし合わせて使用できるようにする。</li> <li>・参考資料や五感を刺激するような材料、環境を用意し、発想や構想の手助けとする。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣と関連させた学習内容を提示し、家庭生活で実践しようとする意欲を喚起できる課題設定をする必要がある。</li> <li>・調理の実践的な学習を生かした課題を設定し、日常生活で技能の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活の課題や、よりよい生活のために自分にできることを考えさせ、積極的に取り組めるよう指導する。</li> <li>・ICT 機器やワークシート等を活用し、家庭での実践について指導し、振り返りを行う。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の動きやポイントを調べたり、自身の課題をつかむ力を伸ばしたりするための、有効な手だてを工夫する必要がある。</li> <li>・運動に対する苦手意識をもっている児童も楽しむことができ、意欲を高める取組を工夫する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上運動・器械運動では、ICT機器で、自身の動きを客観的に見ることで、児童が課題を正確につかめるようにする。</li> <li>・個々の運動能力に応じたルールを設定したり、児童が安心感をもって運動できる器具や場の工夫をしたりする。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を聞き取ったり話の概要を捉えたりする技能や、聞く、読む、書く技能の個人差がある。</li> <li>・学習活動の工夫を図り、問題解決学習を取り入れた学びもできるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語に関する技能の実態を把握し、グループでの課題編成を工夫する。</li> <li>・タブレットを活用し、主体的に外国の文化や英語表現を調べる学習活動を取り入れる。</li> </ul>